



TAKARA
& COMPANY

2021年5月期 第2四半期

決算説明会

第84期（2020年6月～2020年11月）

証券コード7921

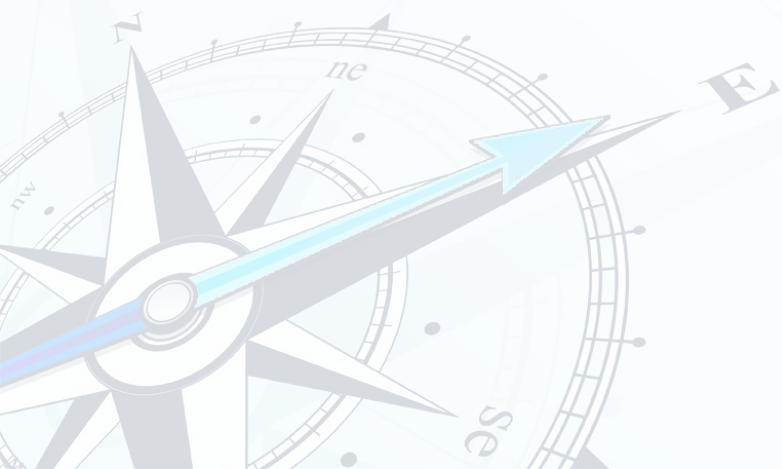
目次

1. 上半期の連結決算概要

2. 中期経営計画2023の進捗状況

3. 主要トピックス

4. 株主還元



2021年5月期第2四半期 トピックス

1 決算・開示コンサルティング会社を新設

2020年6月1日、決算・開示業務を支援する(株)TAKARA Solutions & Servicesを設立。アウトソーシングサービス事業の拡大と決算業務コンサルティングを強化。



TAKARA Solutions & Services

2 170万株の自己株式の売出しを発表

2020年9月7日、170万株の自己株式の売出しを発表。
本資金調達を行うことにより、開示支援システムの高機能化と、成長ベースとなる強固な財務基盤と財務柔軟性の確保を図り、企業価値向上に向けた経営基盤の強化に繋げる。

2021年5月期第2四半期 サマリー

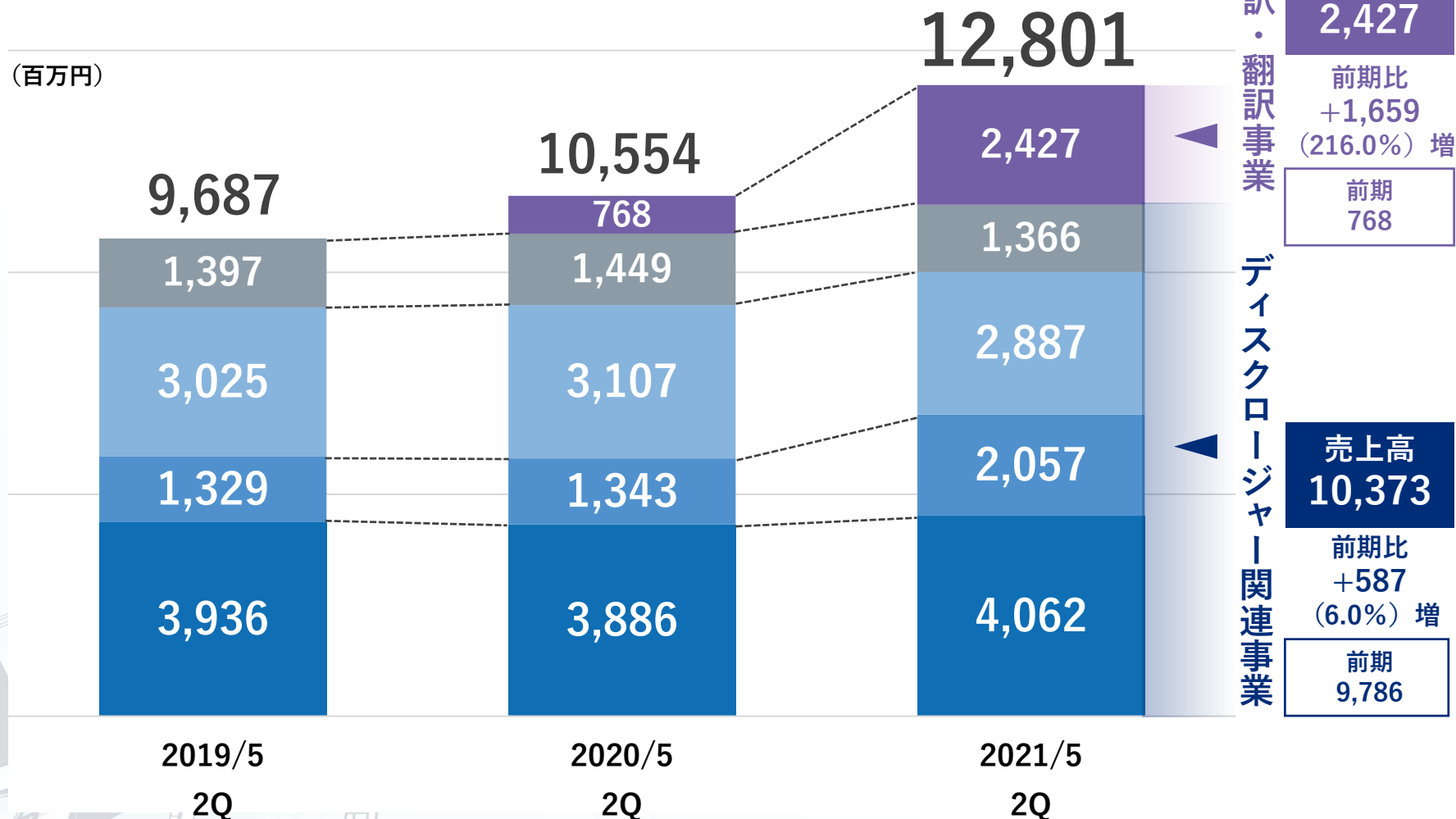
	【前期】 2020/5 2Q		【当期】 2021/5 2Q		増減	
	金額（百万円）	構成比（％）	金額（百万円）	構成比（％）	金額（百万円）	増減率（％）
売上高	10,554	100.0	12,801	100.0	2,246	21.3
売上原価	6,416	60.8	7,478	58.4	1,061	16.5
売上総利益	4,137	39.2	5,323	41.6	1,185	28.6
販管費合計	2,722	25.8	3,756	29.3	1,034	38.0
営業利益	1,415	13.4	1,566	12.2	150	10.6
経常利益	1,451	13.8	1,677	13.1	225	15.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	939	8.9	872	6.8	△66	△7.1

	【前期末】 2020/5	【当期】 2021/5 2Q	増減
総資産（百万円）	26,450	29,573	3,123
純資産（百万円）	16,582	21,587	5,004
自己資本比率（％）	60.8	71.1	10.3Pt

連結売上高推移 | セグメント別・製品区分別

■ディスクロージャー関連事業 (■金商法 ■会社法 ■IR ■その他)

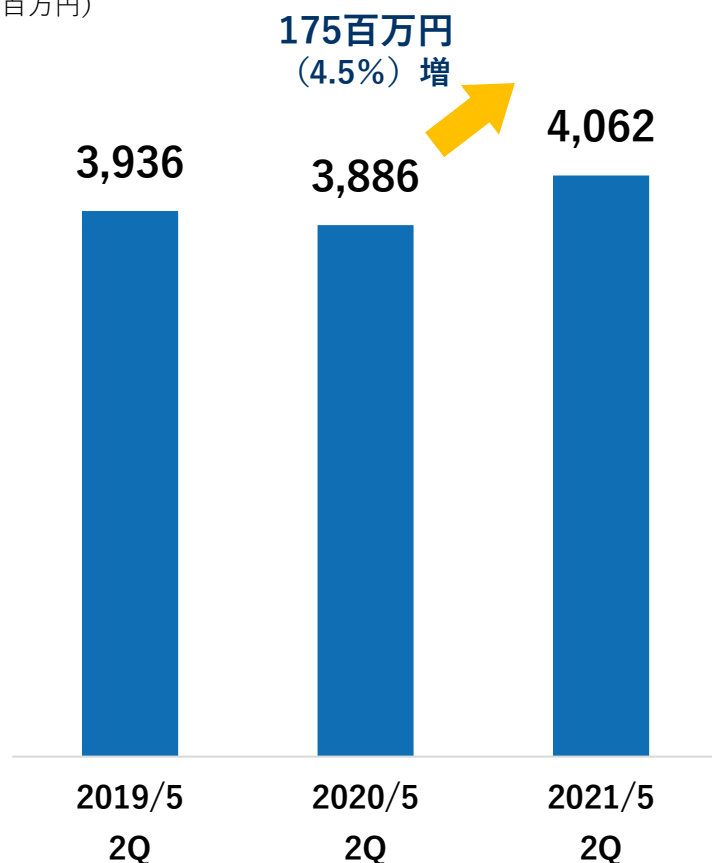
■通訳・翻訳事業



セグメント別売上高 | ①ディスクロージャー関連事業

製品区分別	主なサービス
金融商品取引法	有価証券報告書、目論見書 開示書類作成支援ツール「X-Smart.」等

(百万円)



主な増減要因

- ・ 決算、開示に係る支援等のコンサルティングが増加
- ・ 法定開示書類作成支援ツール「X-Smart.シリーズ」の導入顧客数が堅調に推移

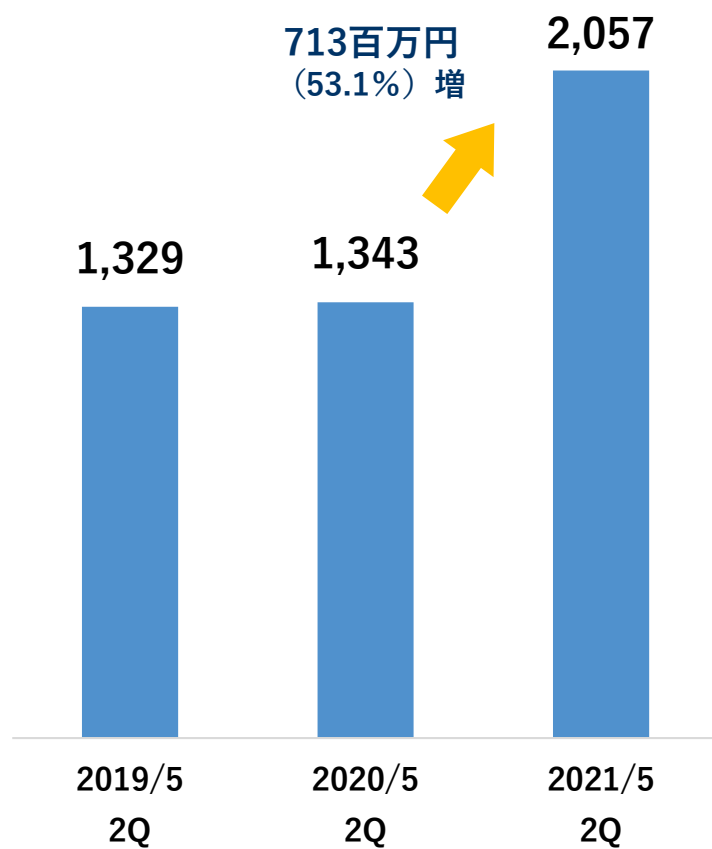
主な 関連 子会社	宝印刷 TAKARA	ASK TOTAL ADVISORS & SUPPORTING KNOWLEDGE
	3C CONSULTING	TSS TAKARA

※印は非連結子会社です。

セグメント別売上高 | ①ディスクロージャー関連事業

製品区分別			
会社法	<table> <tr> <td>主なサービス</td><td>招集通知、「ネットで招集」、株主総会運営支援、会社法関連翻訳 等</td></tr> </table>	主なサービス	招集通知、「ネットで招集」、株主総会運営支援、会社法関連翻訳 等
主なサービス	招集通知、「ネットで招集」、株主総会運営支援、会社法関連翻訳 等		

(百万円)



主な増減要因

- 新型コロナウイルス感染症の影響で株主総会招集通知および関連文書の翻訳の売上がずれ込んだため

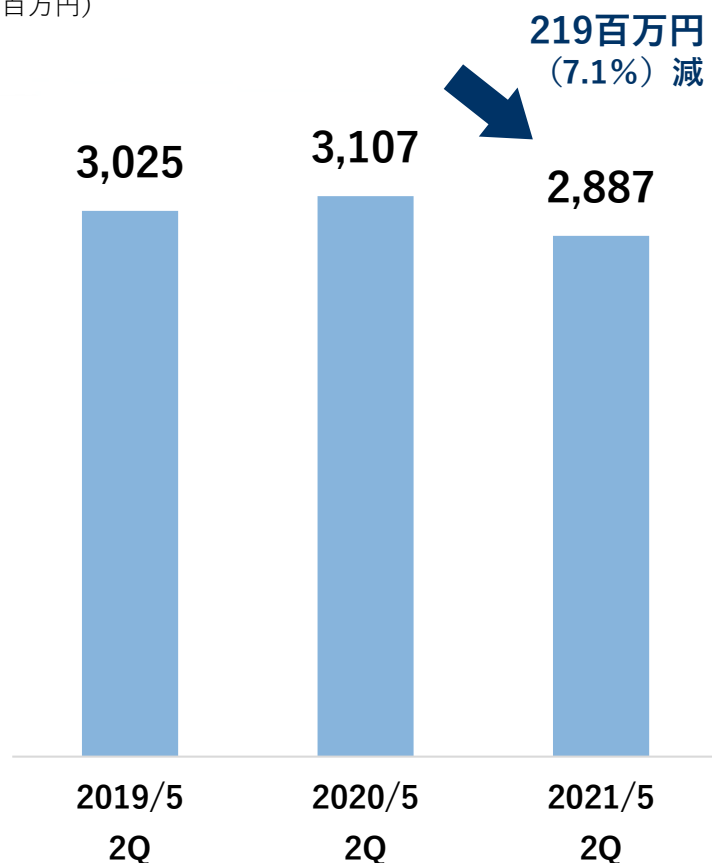
主な
関連
子会社



セグメント別売上高 | ①ディスクロージャー関連事業

製品区分別	主なサービス	事業報告書・株主通信、「ネット株通」、ディスクロージャー誌、統合報告書 等
I R		

(百万円)



主な増減要因

- ・ 事業報告書の売上が減少
- ・ 統合報告書は作成会社数が増加し堅調に推移しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により納品月の変更が発生している

主な
関連
子会社

 **宝印刷**

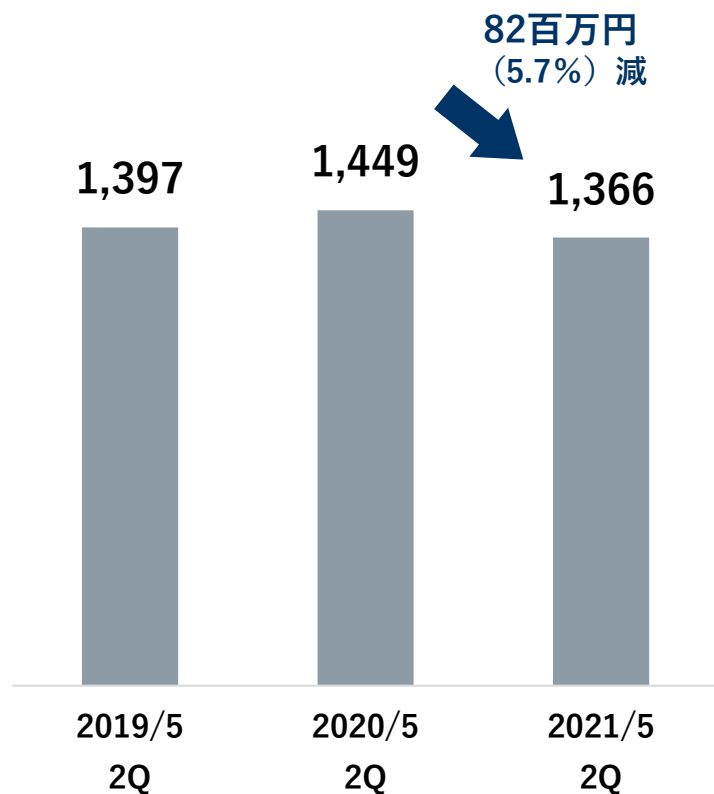
※  **D&IR**
Disclosure & IR Research Institute Ltd.

※印は非連結子会社です。

セグメント別売上高 | ①ディスクロージャー関連事業

製品区分別	主なサービス	株主優待関連、WEB制作売上 等
その他		

(百万円)



主な増減要因

- ・ 株主優待関連の売上が減少

主な
関連
子会社



宝印刷

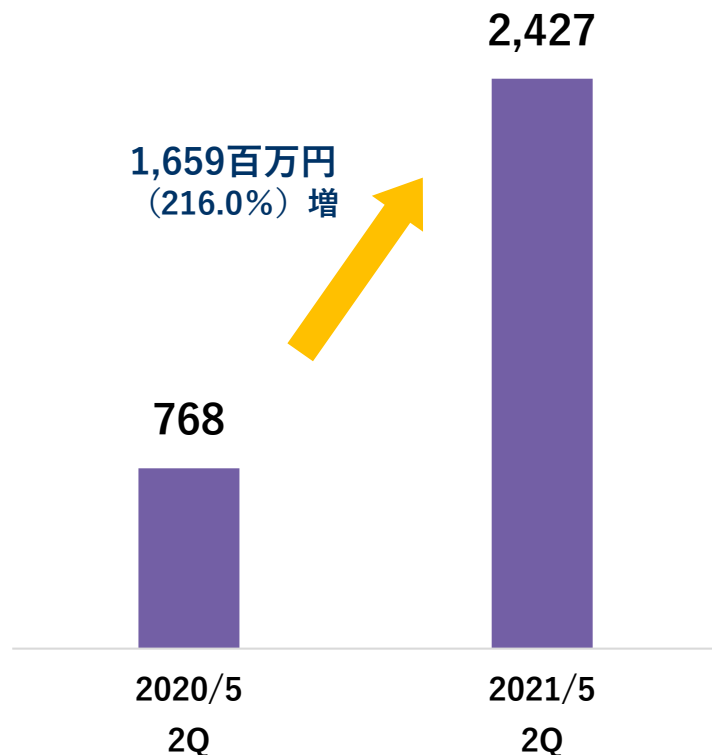


TAKARA INTERNATIONAL
HONG KONG LIMITED

セグメント別売上高 | ②通訳・翻訳事業

主なサービス	通訳、通訳機材/遠隔同時通訳プラットフォームの提供、翻訳/ローカライズ、AI翻訳システム、多言語翻訳 等
--------	--

(百万円)



主な増減要因

- ・ 2020年5月期は十印グループのみ連結
- ・ 2021年5月期はサイマル・グループを連結範囲に含める

主な
関連
子会社



セグメント別情報

(百万円)	ディスクロージャー 関連事業		通訳・翻訳事業		四半期連結損益計算書 計上額 (※調整後)	
	【前期】 2020/5 2Q	【当期】 2021/5 2Q	【前期】 2020/5 2Q	【当期】 2021/5 2Q	【前期】 2020/5 2Q	【当期】 2021/5 2Q
売上高	9,787	10,373	784	2,504	10,554	12,801
セグメント 利益又は損失 (△)	1,327	1,697	88	△436	1,415	1,566

※売上高は、前期は△17百万円、当期は△77百万円、調整を行っております。

※セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と、前期は△0百万円、当期は304百万円、調整を行っております。

連結損益計算書

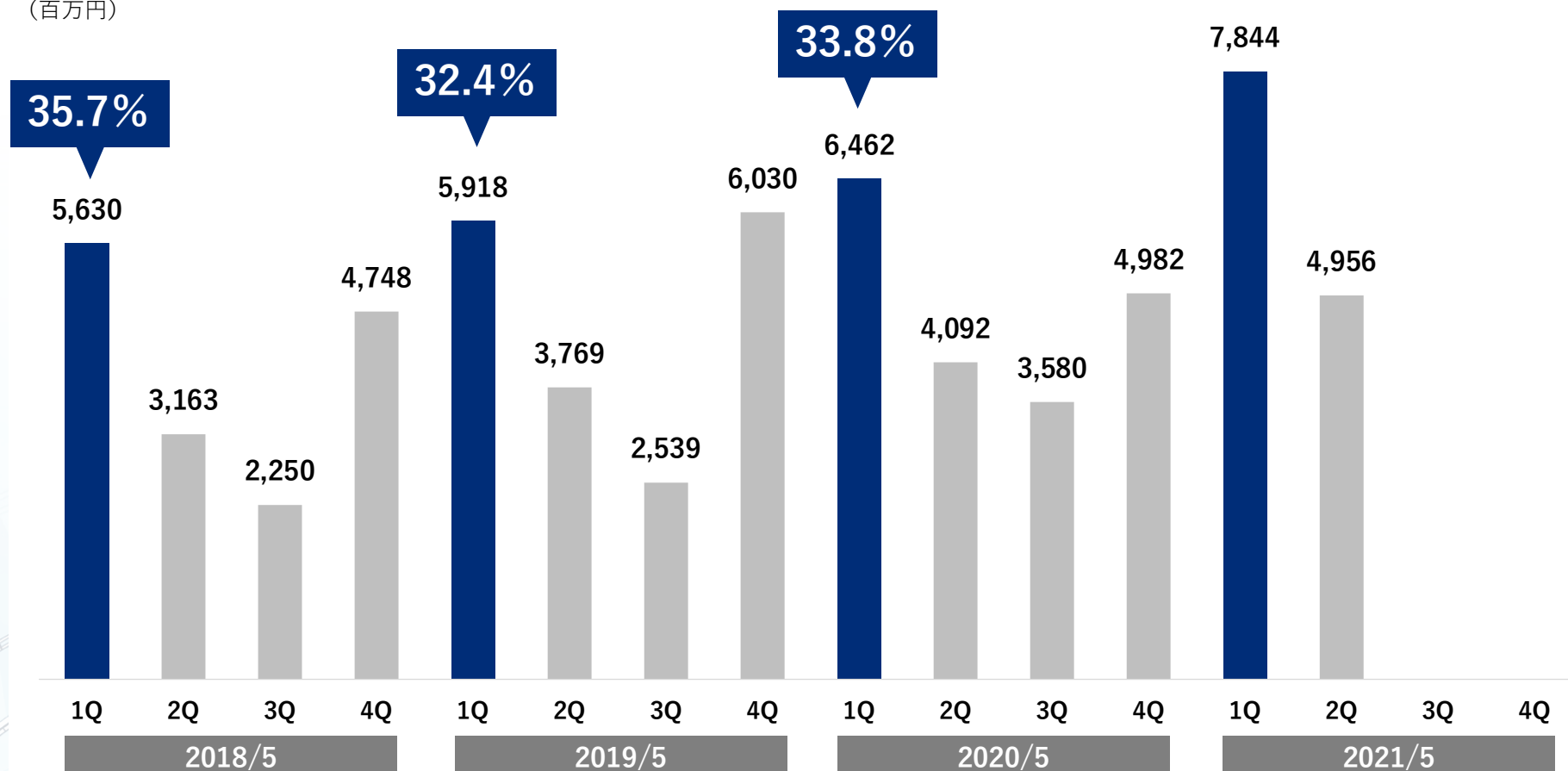
(百万円)

	2020/5 2Q	2021/5 2Q	増減	増減率 (%)
売上高	10,554	12,801	2,246	21.3
売上原価	6,416	7,478	1,061	16.5
(原価率)	60.8%	58.4%	△2.4pt	—
売上総利益	4,137	5,323	1,185	28.6
販管費	2,722	3,756	1,034	38.0
営業利益	1,415	1,566	150	10.6
(営業利益率)	13.4%	12.2%	△1.2pt	—
営業外収益	60	137	77	128.5
営業外費用	24	26	2	8.7
経常利益	1,451	1,677	225	15.6
特別利益	—	4	4	—
特別損失	22	67	45	206.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	939	872	△66	△7.1

連結売上高四半期推移

お客様様の決算期が3月に集中していることに伴い季節的変動があり、第1四半期の売上が他の四半期に比べて高くなる傾向があります。

(百万円)



連結貸借対照表

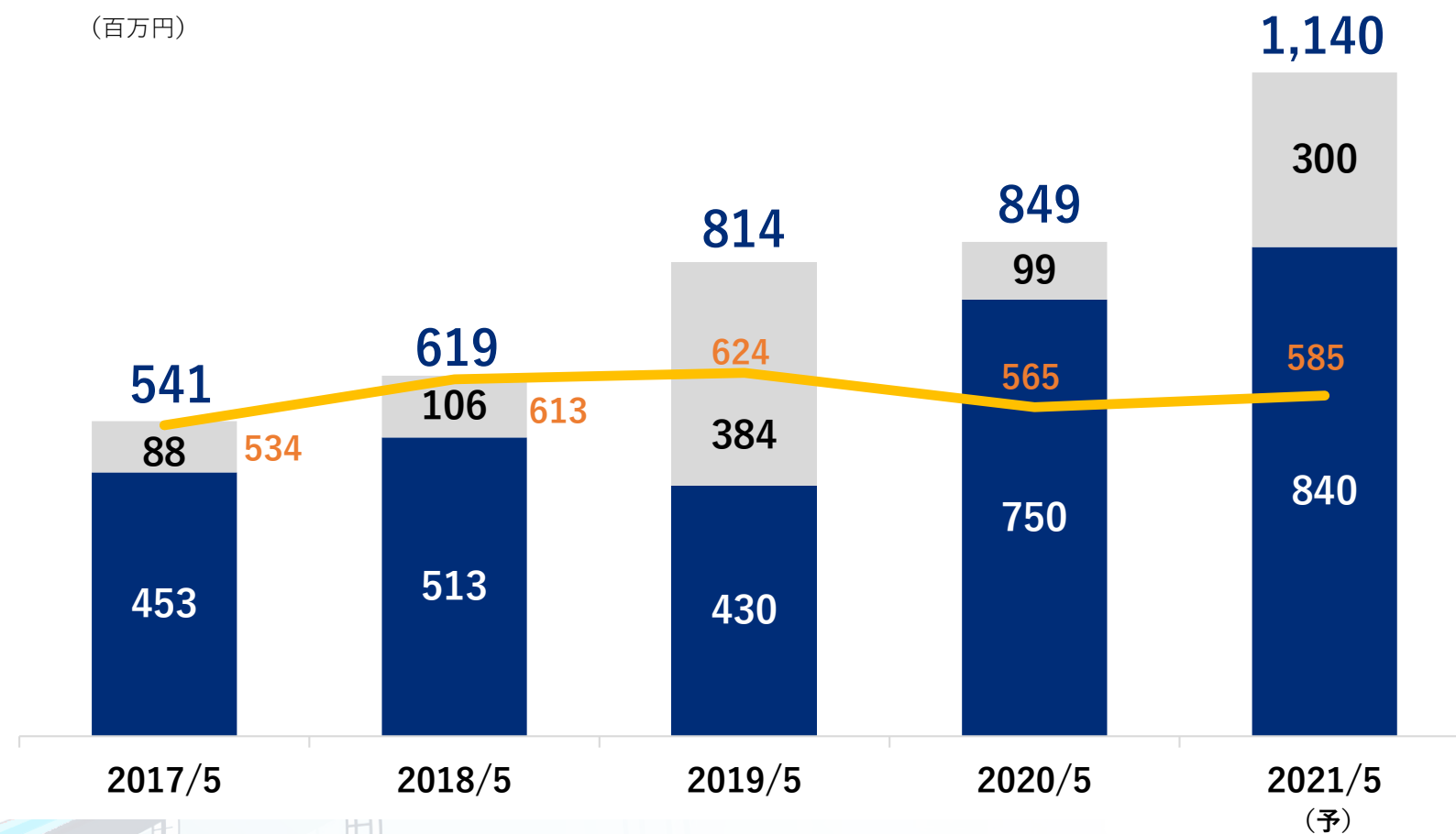
(百万円)

資産	2020/5 前期末	2021/5 2Q	増減額	増減率(%)
流動資産 合計	12,470	15,266	2,795	22.4
現金及び預金	7,365	11,697	4,332	58.8
受取手形及び売掛金	3,616	2,750	△866	△24.0
仕掛品	1,118	493	△624	△55.9
固定資産 合計	13,979	14,307	327	2.3
有形固定資産	4,481	4,419	△62	△1.4
無形固定資産	5,782	5,907	124	2.2
のれん	2,738	2,634	△104	△3.8
ソフトウェア仮勘定	571	946	374	65.6
投資その他の資産	3,715	3,980	265	7.1
資産合計	26,450	29,573	3,123	11.8
負債・純資産	2020/5 前期末	2021/5 2Q	増減額	増減率(%)
負債合計	9,867	7,986	△1,880	△19.1
流動負債	8,035	6,295	△1,739	△21.6
固定負債	1,832	1,690	△141	△7.7
純資産合計	16,582	21,587	5,004	30.2
株主資本	15,628	20,260	4,631	29.6
その他の包括利益累計額	454	757	303	66.7
負債純資産合計	26,450	29,573	3,123	11.8
自己資本比率	60.8	71.1	1.9Pt	—

設備投資額・減価償却費

- 有形固定資産（印刷機・サーバー維持費）
- 無形固定資産（システム開発費）
- 減価償却費

（百万円）



連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2020/5 2Q	2021/5 2Q	増減額	増減率 (%)
営業活動 C F	1,658	1,619	△39	△2.4
投資活動 C F	△728	△605	123	16.9
財務活動 C F	△350	3,322	3,673	—
短期借入金の純増減額	△9	△439	△430	—
配当金の支払額	△278	△301	△22	—
株式の発行による収入	—	457	457	—
自己株式の処分による収入	—	3,591	3,591	—
現金及び現金同等物の 四半期末残高	8,417	11,593	3,176	37.7

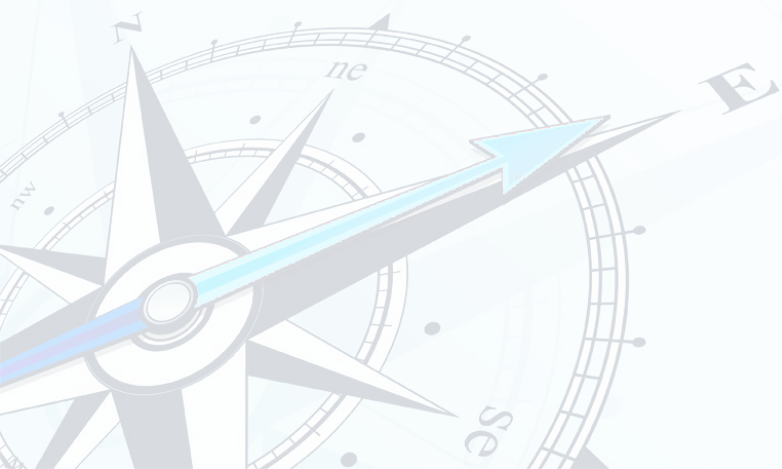
目次

1. 上半期の連結決算概要

2. 中期経営計画2023の進捗状況

3. 主要トピックス

4. 株主還元



市場動向

ディスクロージャー関連事業

金融商品取引法

- 東証市場再編に伴うコンサルティングの需要が増加
- 決算・開示業務に関わるアウトソーシングニーズの増加

会社法

- ハイブリッド型バーチャル総会に伴う動画配信・WEBサービスの増加
- 招集通知電子化に対応する「ネットで招集」の販売増強

IR

- 新型コロナの影響により事業報告書の一時的な不作成が見られるものの、統合報告書の作成需要およびIR翻訳については堅調に推移

その他

- 株主優待サービスが一時的に減少

通訳・翻訳事業

通訳

- 新型コロナの影響により大型国際会議や海外案件が消失し一時的に売上が低下しているものの、その一方で「遠隔同時通訳システム」の需要が増加

翻訳

- 日米顧客向けを中心に翻訳関連の売上が好調に推移

「中期経営計画2023」進捗状況

	2020/5 通期 (実績)	2021/5 上半期 (計画)	2021/5 上半期 (実績)	2021/5 通期 (業績予想)	2023/5 通期 (計画)
売上高	191億円	135億円	128億円	265億円	300億円
ディスクロージャー関連事業	175億円	—	103億円	—	200億円
通訳・翻訳事業	16億円	—	24億円	—	100億円
営業利益	22億円	15億円	15億円	25億円	29億円
営業利益率	11.8%	—	12.2%	9.4%	9.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	15億円	9億円	8億円	16億円	19億円
R O E	10.0%	—	—	9.6%	10.0%

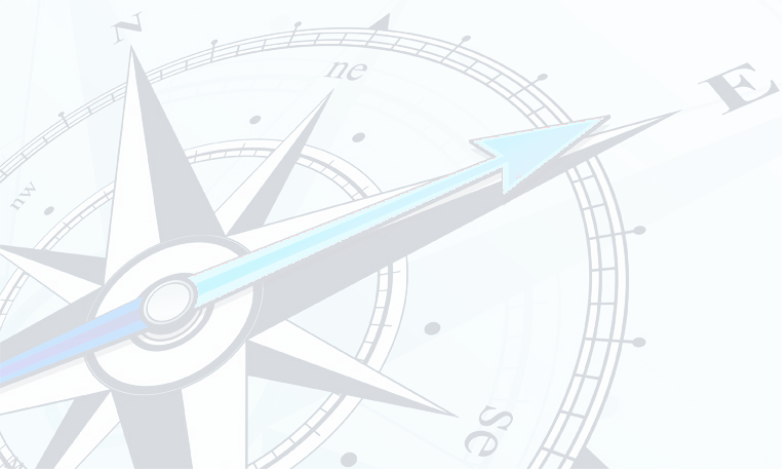
目次

1. 上半期の連結決算概要

2. 中期経営計画2023の進捗状況

3. 主要トピックス

4. 株主還元



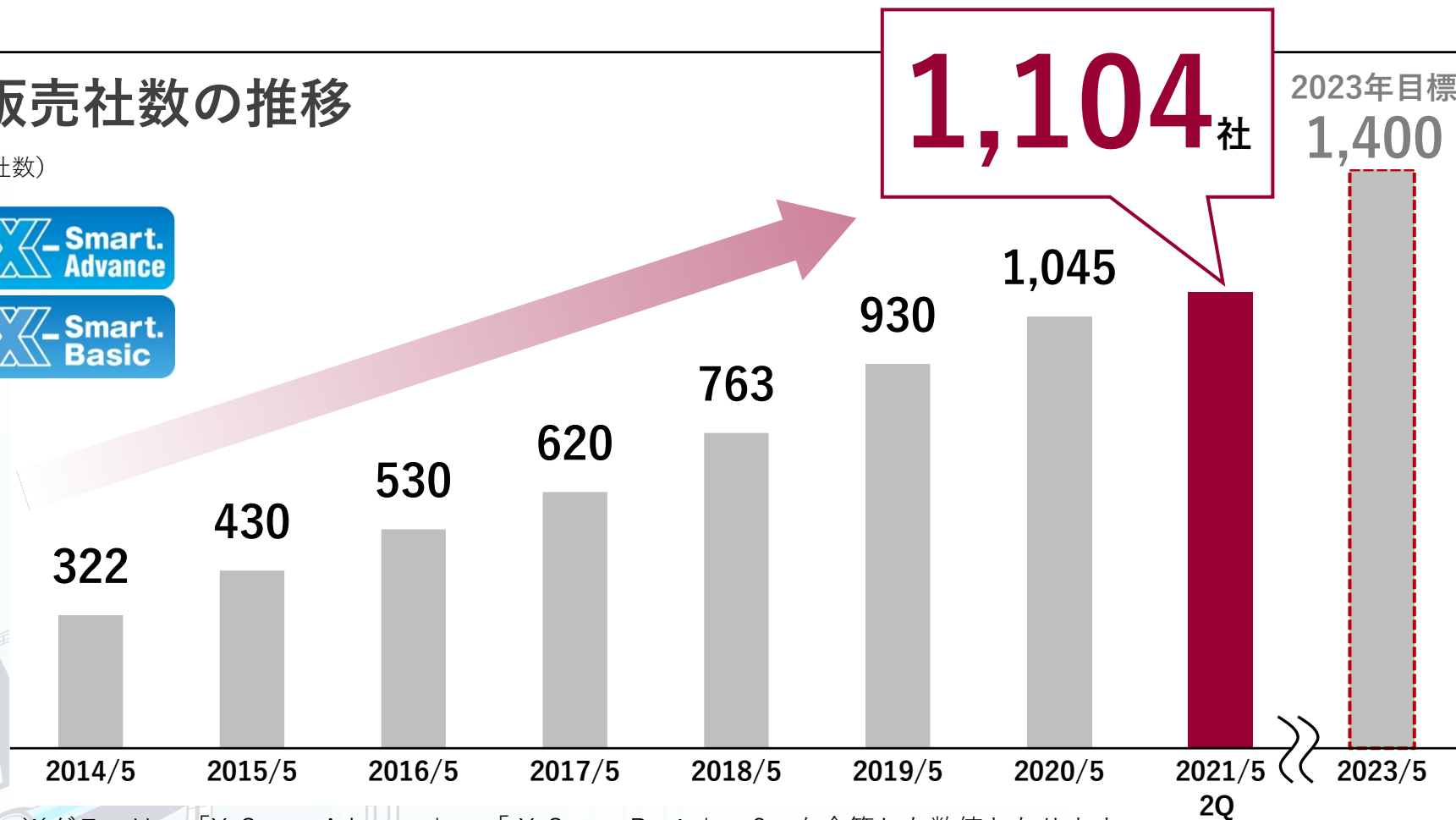
1. X-Smart.Advance（開示書類作成支援ツールの上位機種）

金商法

連結会計システムとの連携機能拡張、法人電子申告システム等とのデータ連携機能等、様々な用途において適応可能に

販売社数の推移

（社数）

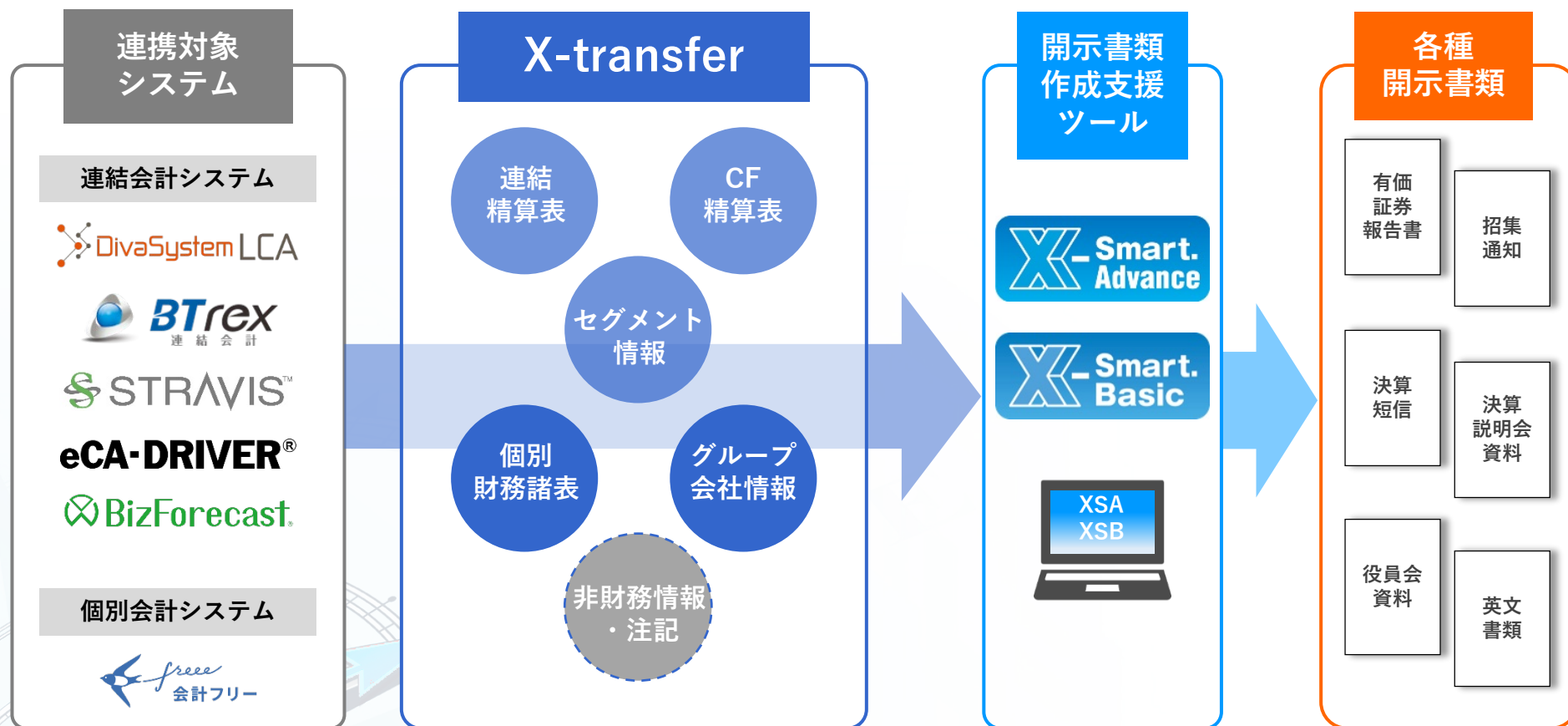


※グラフは、「X-Smart.Advance」、「X-Smart.Basic」の2つを合算した数値となります。

2. 連結会計システムとXSAの機能連携拡張

金商法

国内主要会計システムとX-Smart.Advanceを繋ぐAPI連携機能「X-transfer」を強化



※連携範囲は会計システムによって異なります。

※「非財務情報・注記」は今後実装予定となります。

3. 株主総会の動画配信サービス

会社法

新型コロナの影響により、会場開催とインターネット環境の両方から株主総会に参加・出席できる「ハイブリッド型バーチャル総会」の需要が拡大

一般的な
株主総会
の
実施形態

リアル
株主総会
(会場開催)

ハイブリッド型バーチャル株主総会

参加型

(審議等を確認・傍聴できる)

出席型

(議決権行使ができる)

バーチャル
オンリー型
株主総会

※現行の会社法では
開催は困難

当社のサービス範囲

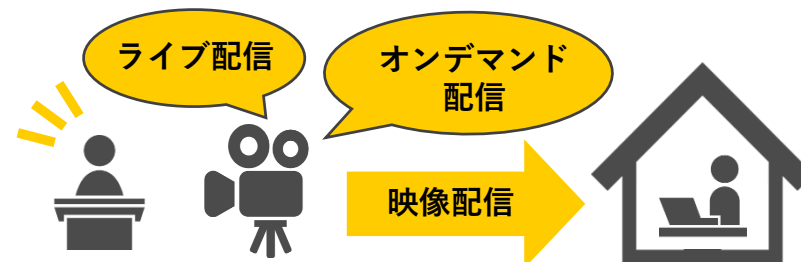
リアル株主総会（会場開催）

- ・ 招集通知の作成、翻訳
- ・ パワーポイント作成
- ・ ナレーション収録
- ・ 「ネットで招集」で配信
- ・ 運営コンサルティング
- ・ 機材準備、提供
- ・ 通訳



バーチャル株主総会（参加型）

- ・ 事前収録、配信
- ・ ライブ配信、オンデマンド配信



4. 決算説明会動画配信サービス

IR

決算説明会の動画配信（ライブ・オンデマンド）を検討される企業の増加に伴い、動画配信サービス対応および専用の「視聴フォーマット」を作成



サポート
内容

通訳

資料翻訳

資料作成サポート

IRコンサルティング

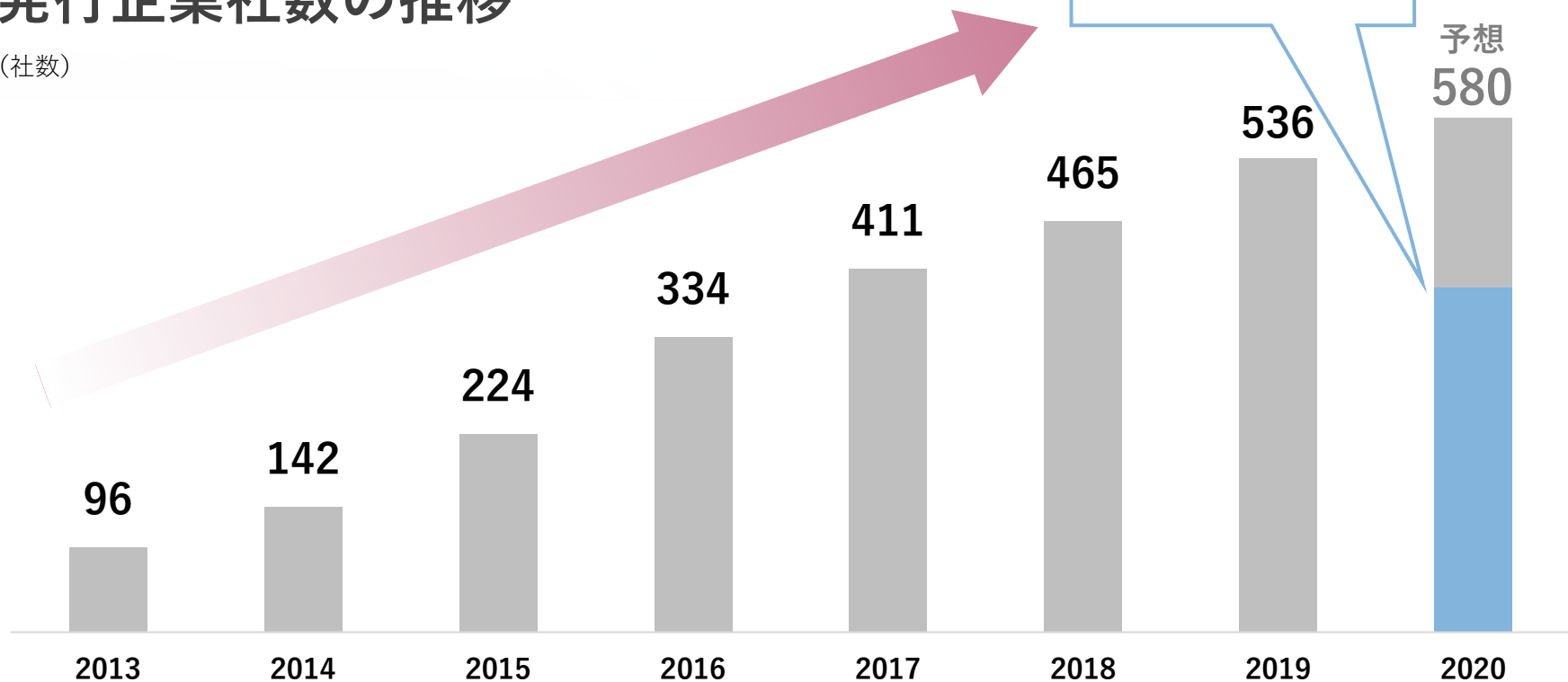
ESG関連書類、売上高6.1%増加

2020年9月末時点

390社

発行企業社数の推移

(社数)



※ESG/統合報告研究室調べ。

※「JPX日経インデックス400対象企業」「日経225対象企業」「エコほっとライン掲載企業」「時価総額1,000億円以上の企業」のほか、研究室の調査活動で確認できた企業を対象。

6. ディスクロージャー翻訳

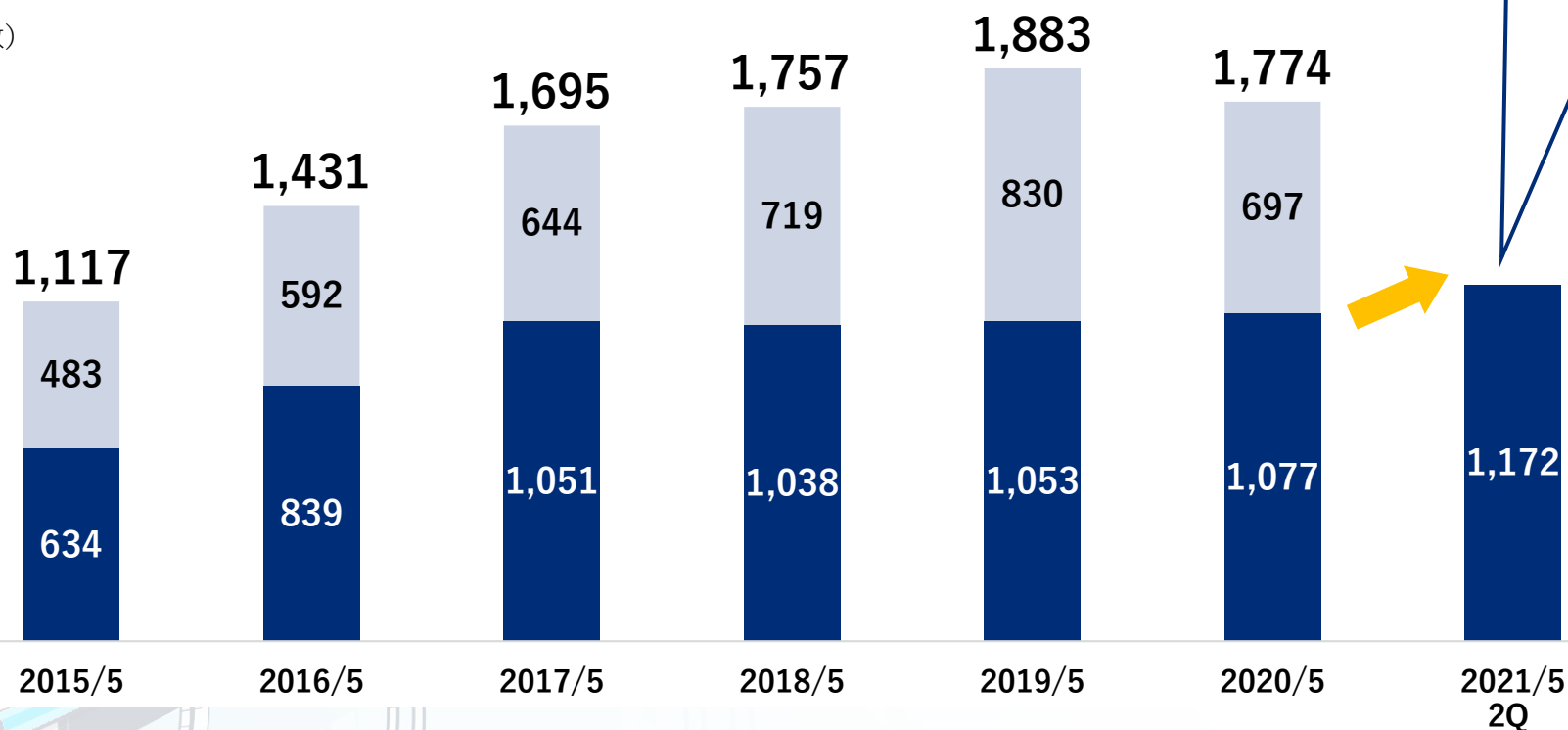
ディスク
ロージャー
関連

新型コロナの影響により、招集通知の納品が5月から6月に変更したものが数件増えたため、英訳作業も後ろ倒しとなり前年同期比95件増加

翻訳受注件数の推移

■ 中間 ■ 期末

(件数)



7. 遠隔同時通訳プラットフォーム

通訳

新型コロナの影響により一時的に売上が低下しているものの、リモート会議のニーズの高まりにより、遠隔同時通訳プラットフォームの需要は増加

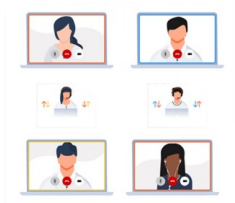


interprefyとは？

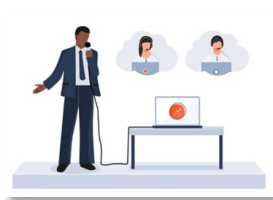
クラウドベースの遠隔同時通訳プラットフォーム。
インターネットがつながるあらゆる場所から、
いつでも、何ヶ国語でも、会議やイベントで
同時通訳が利用可能に。



役員会議



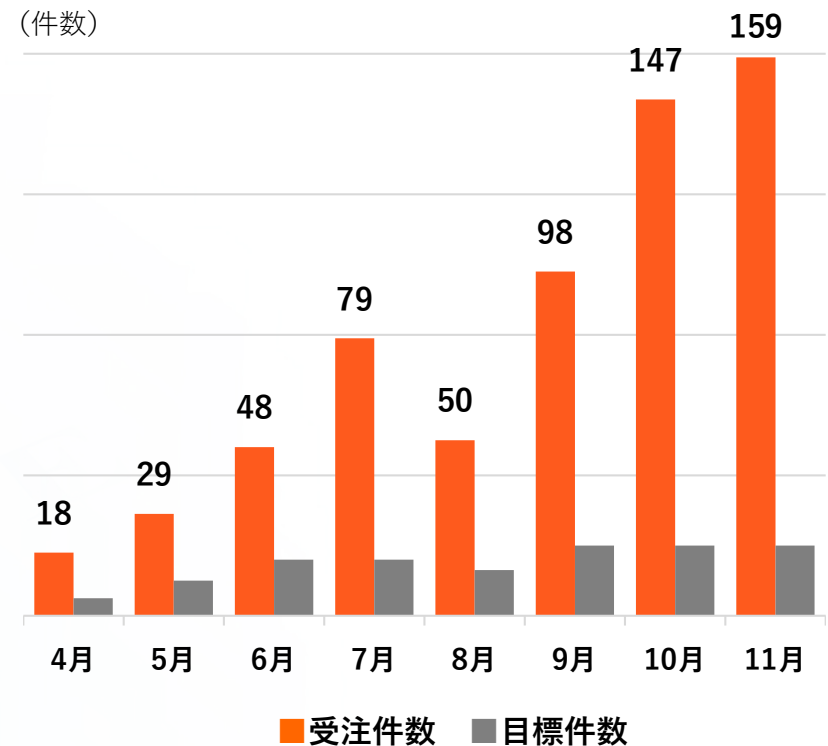
テレビ会議



講演会

interprefy受注件数の推移

(件数)



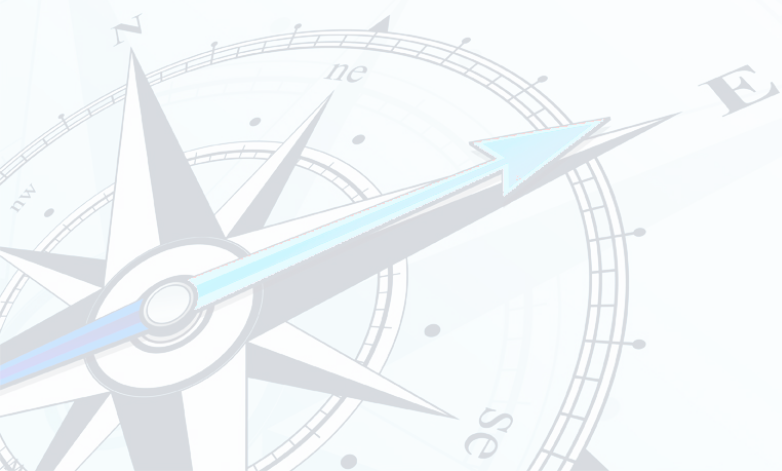
目次

1. 上半期の連結決算概要

2. 中期経営計画2023の進捗状況

3. 主要トピックス

4. 株主還元



株主還元

配当方針

安定配当

(配当性向40～50%目安)

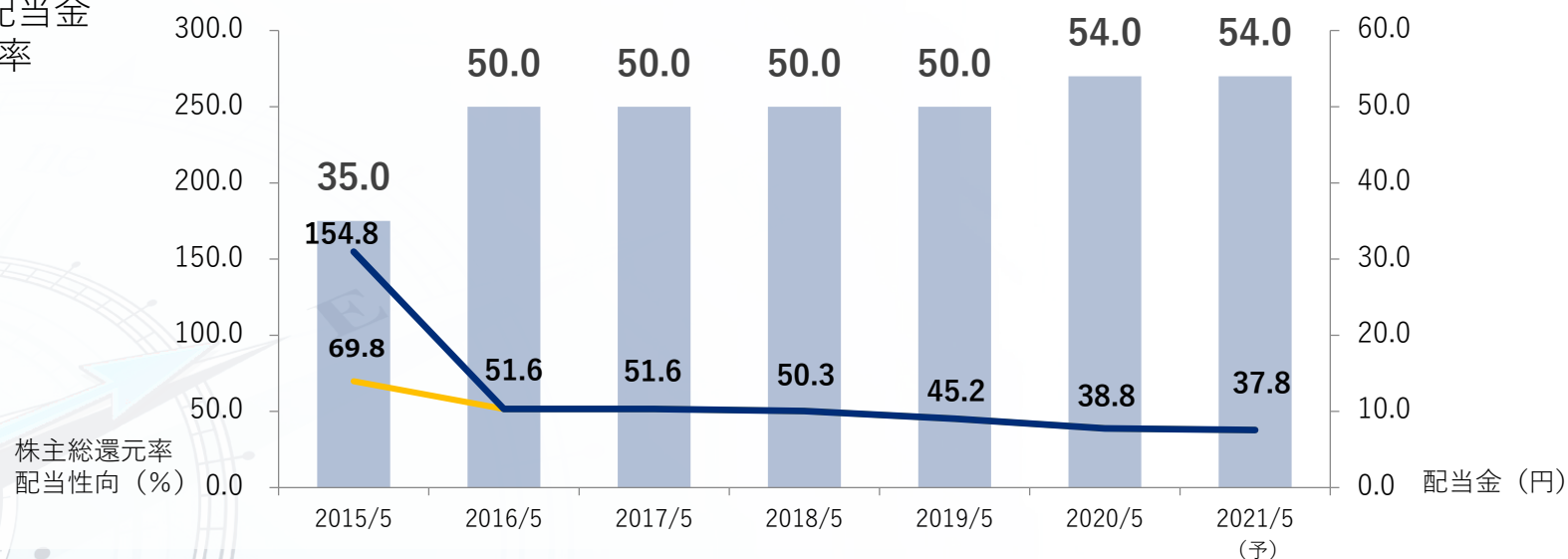
配当金

54.0円

(中間配当金27.0円/期末普通配当金27.0円)

配当金/配当性向の推移

- 1株当たり配当金
- 株主総還元率
- 配当性向





TAKARA
& COMPANY

総務部 広報IR課

WEB <https://www.takara-company.co.jp/>

会社概要

補足資料

商号	株式会社TAKARA & COMPANY
創業	1952年（昭和27年） 6月15日
本社所在地	〒171－0033 東京都豊島区高田三丁目28番8号
代表取締役社長	堆 誠一郎
上場取引所	東証一部（証券コード 7921）
決算期	5月
発行済株式総数	13,153千株
株主数	26,891名
従業員数	1,088名（連結）

（2020年11月30日現在）

グループ企業理念

社会の公器としての使命を果たす

目指す姿

グループ各社の専門性を磨き、お客様の企業価値拡大に貢献し、
社会になくてはならないグローバル企業であり続ける

行動指針

- 1・顧客とともに新たな価値を創造する
- 2・倫理と道義を重んじる
- 3・専門能力を高め、顧客とともに成長する
- 4・お互いを認め合い、高め合う
- 5・社会の公器として正しいかどうかを判断基準とする

持株会社体制図

補足資料

TAKARA & COMPANY

宝印刷(株)

(株)サイマル
・インター
ナショナル

十印
グループ

(株)タスク

(株)スリー・
シー・コンサ
ルティング

(株)イーツー

TAKARA
INTERNATIONAL
(HK) LTD.

Translasia
Holdings
Pte.Ltd.

(株)サイマル・
ビジネス
コミュニケー
ションズ

(株)サイマル・
テクニカル
コミュニケー
ションズ

連結子会社

ディスクロージャー
・イノベーション(株)

(株)ディスクロージャー
& IR総合研究所

仙台
宝印刷(株)

(株)TAKARA
Solutions & Services

(社)日本
IPO実務
検定協会

各指標の推移

補足資料

	2017/5	2018/5	2019/5	2020/5	2021/5 11月末
決 算 日 終 値	1,661円	1,945円	1,617円	1,887円	1,938円
配 当 利 回 り	3.01%	2.57%	3.09%	2.86%	2.79%
実 績 P E R (株 価 収 益 率)	17.16倍	19.57倍	14.62倍	13.57倍	26.89倍
P B R (株 価 純 資 産 倍 率)	1.37倍	1.53倍	1.20倍	1.31倍	1.21倍